

大和ハウス Special

アンドリス・ネルソンス 指揮
ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

WIENER PHILHARMONIKER WEEK IN JAPAN 2024

Daiwa House Special

ANDRIS NELSONS Conducts WIENER PHILHARMONIKER

もとめあう理想、
満ち足りた感動の週間



© Marco Borggreve

© Wiener Philharmoniker / Dieter Nagl

2024年

11月12日(火)

19:00開演(18:20開場)

Tuesday, November 12 at 19:00

11月13日(水)

19:00開演(18:20開場)

Wednesday, November 13 at 19:00

11月16日(土)

16:00開演(15:20開場)

Saturday, November 16 at 16:00

11月17日(日)

16:00開演(15:20開場)

Sunday, November 17 at 16:00

サントリーホール 大ホール Suntory Hall, Main Hall

日本、そしてサントリーホールを「第2のホーム」と語る世界でもっとも愛されるオーケストラ、ウィーン・フィル。その絆はコロナ禍でも途絶えることなく、今年39回目の来日公演を行います。指揮は、いま「世界でもっとも忙しい指揮者」ともいわれ、クラシック音楽界を力強く牽引するアンドリス・ネルソンス。2010年、若くしてウィーン・フィル日本公演に登板したネルソンスはその後クラシック音楽界を席卷。世界トップオーケストラと共演を続けるほか、ボストン響とゲヴァントハウス管という二つの伝統あるオーケストラの音楽監督を兼務、世界中から愛される指揮者になりました。ウィーン・フィルとの絆も強く、2020年ニューイヤー・コンサート、2022年サマーナイト・コンサートと二つのアイコン的な公演に登場。さらにウィーン・フィルにとって特別な存在であるベートーヴェンの生誕250周年に寄せた交響曲全曲録音を指揮するなど、その信頼関係は年々深まっています。ソリストには、情感豊かで歌心あふれる表現が聴衆を虜にするイエフィム・ブロンフマンと、研ぎ澄まされた技術と繊細・優美な演奏で人々の心をつかむ五嶋みどりが登場。新時代の名コンビを予感させるネルソンスとウィーン・フィルが、現代最高峰の名手二人とともに臨む11月にご期待ください。

11月12日(火) 19:00開演(18:20開場)

Tuesday, November 12 at 19:00 (Doors Open at 18:20)

プロコフィエフ：ヴァイオリン協奏曲第1番 二長調 作品19 (ヴァイオリン：五嶋みどり)
Serge Prokofiev: Violin Concerto No. 1 in D Major, Op. 19 (MIDORI, Violin)

マーラー：交響曲第5番 嬰ハ短調
Gustav Mahler: Symphony No. 5 in C-sharp Minor

11月13日(水) 19:00開演(18:20開場)

Wednesday, November 13 at 19:00 (Doors Open at 18:20)

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 作品37 (ピアノ：イエフィム・ブロンフマン)
Ludwig van Beethoven: Piano Concerto No. 3 in C Minor, Op. 37 (Yefim Bronfman, Piano)

R. シュトラウス：交響詩『英雄の生涯』作品40
Richard Strauss: *Ein Heldenleben*, Op. 40

11月16日(土) 16:00開演(15:20開場)

Saturday, November 16 at 16:00 (Doors Open at 15:20)

ムソルグスキー(ショスタコーヴィチ 編曲)：
オペラ『ホヴァンシチナ』第1幕への前奏曲「モスクワ河の夜明け」
Modest Petrovich Musorgsky (arr. Dmitry Shostakovich):
Khovanshchina, Prelude to Act 1, "Dawn on the Moscow River"

ショスタコーヴィチ：交響曲第9番 変ホ長調 作品70
Dmitry Shostakovich: Symphony No. 9 in E-flat Major, Op. 70

ドヴォルジャーク：交響曲第7番 二短調 作品70 (B 141)
Antonín Dvořák: Symphony No. 7 in D Minor, Op. 70 (B 141)

11月17日(日) 16:00開演(15:20開場)

Sunday, November 17 at 16:00 (Doors Open at 15:20)

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番 ハ短調 作品37 (ピアノ：イエフィム・ブロンフマン)
Ludwig van Beethoven: Piano Concerto No. 3 in C Minor, Op. 37 (Yefim Bronfman, Piano)

R. シュトラウス：交響詩『英雄の生涯』作品40
Richard Strauss: *Ein Heldenleben*, Op. 40



指揮：アンドリス・ネルソンス

Andris Nelsons, Conductor

アンドリス・ネルソンスはボストン交響楽団の音楽監督、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団のカベルマイスターとして、両楽団間の先駆的な連携のリーダーシップを発揮し、今日の国際的な音楽舞台で最も著名で革新的な指揮者として位置付けられている。ボストン響とは、ショスタコーヴィチ交響曲全曲と『ムツェンスク郡のマクベス夫人』の録音プロジェクトを行い、4つのグラミー賞を獲得している。ラトヴィア国立オペラ管弦楽団のトランペット奏者としてキャリアをスタート。その一方で指揮も学びはじめ、2003～07年までラトヴィア国立オペラの音楽監督を務める。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管などとも共演、ロイヤル・オペラ・ハウス、パイロイト音楽祭などにも定期的に出演。ウィーン・フィルとはベートーヴェンの交響曲全曲録音を行ったほか、20年1月にはニューイヤー・コンサートを、22年にはシェーンブルン宮殿でのサマーナイト・コンサートを指揮した。

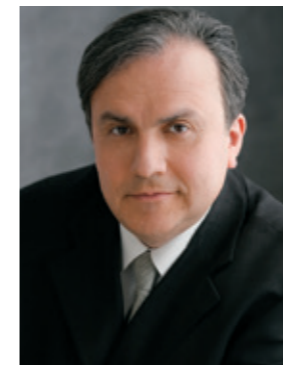
© Marco Borggreve



© Lois Lammerhuber

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 Wiener Philharmoniker

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団ほど、西洋音楽の歴史と伝統に深く関わっているオーケストラはないだろう。その魅力は、世代を超えて慎重に継承されてきた均質な音楽スタイルの意識的な維持、および独特な歴史と組織形態に基づいている。今日でも変わらぬ「ウィーン・フィルの理念」の支柱は、芸術的・組織的な意思決定の過程すべてをオーケストラのメンバー自身の手に委ねる民主的な組織であること、そしてウィーン国立歌劇場管弦楽団との密な共生である。日本や日本の聴衆との関係は非常に密接で、パンデミックの起こった2020年でさえ、大規模なセキュリティ対策とツアー期間中の検疫を実施した上で日本公演が行われた。パンデミックの発生以来、ウィーン・フィルは試験や研究を通して主導的な役割を果たし、最初のロックダウン後の20年6月には、世界に先駆けて生の聴衆のためのコンサートを行った。同楽団は、音楽の人道的なメッセージを聴衆の日常生活や意識の中に伝えることを使命としている。



ピアノ：イエフィム・ブロンフマン

Yefim Bronfman, Piano

イエフィム・ブロンフマンは、今日世界でもっとも敬愛されているピアニストの一人である。その卓越したテクニック、力強さ、そして並外れた抒情性は常に称賛を受けており、各地の音楽祭への出演や、オーケストラ、指揮者との共演、さらにはリサイタル・シリーズの開催など、世界中の楽壇から求められる数少ない音楽家である。

旧ソ連タシケント生まれ。イスラエルでは、ピアニストでありテル・アヴィヴ大学ルービン音楽院の学長でもあったアリエ・ヴァルディのもとで学んだ。アメリカでは、ジュリアード音楽院、マールボロ音楽学校、カーティス音楽院で学び、ルドルフ・フィルクスニー、レオン・フライシャー、ルドルフ・ゼルキンに師事した。アメリカの器楽奏者にとって最も栄誉ある賞のひとつであるエイヴリー・フィッシャー賞を1991年に受賞。さらに2010年には、ノースウェスタン大学ビーネン音楽院から世界最高レベルの評価を得たピアニストに与えられるジョン・ギンベル・レーン賞を、15年にはマンハッタン音楽院から名誉博士号を授与された。ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパンには2004、19年に出演しいずれも喝采を浴びた。

© Dario Acosta



ヴァイオリン：五嶋みどり

MIDORI, Violin

ニューヨーク・フィルとの衝撃的な協演デビュー以来40年余、稀有な演奏技術に裏付けられた品位と勇気が五嶋みどりの真骨頂である。委嘱プロジェクトや注目されてこなかった作品紹介、現代曲へのアプローチなど、今日のクラシック音楽界を牽引するヴァイオリニスト「MIDORI」は、一方、20歳で設立した「ミュージック・シェアリング」(日本)、「Midori&Friends」(米国ニューヨ

© Nigel Parry

ーク)を軸に、音楽家による社会貢献のロールモデルを自ら体現し、あらゆる人々に“本物の音楽”を届け続け、その活動を次代に継承する。愛器はガレルネリ・デル・ジェス「エクス・フーベルマン」(1734年製)。第25回サントリー音楽賞(1993年)、『パウル・ヒンデミット作品集』が第56回グラミー賞最優秀クラシック・コンペティション賞(2013年)を受賞。ほか、国際的な受賞歴多数。2007年、国連ピース・メッセンジャーを拝命。現在、カーティス音楽院等で教鞭を執るほか、世界の主要音楽院や夏期講習のマスタークラスなどで後進の指導にも余念がない。
公式サイト <https://www.midori-violin.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/GoToMidori>
ミュージック・シェアリング <http://www.musicsharing.jp/>



© Wiener Philharmoniker / Terry Linke

S 45,000円 A 40,000円 B 35,000円 C 30,000円 D 25,000円 (各公演とも)

WEBでのご購入の場合、お支払い方法はクレジットカード(VISA、JCBなどのブランドデビットカードも利用可)での即時決済のみとなります。
*発行元により、一部ご利用いただけないクレジットカード、デビットカードがございます。ご利用可能なカードについては事前にサントリーホール ホームページでご確認いただくか、サントリーホールチケットセンターへお問合せください。

チケット料金
(税込み)

ユース席 4,500円 (要事前申込・抽選制)

■11月16日(土)公演のみ 90枚、お一人様1枚のみ、座席選択不可 ■対象:中学1年生~25歳以下(2025年3月末時点)
■申込受付:9月23日(月・祝)~9月30日(月)まで、サントリーホール ホームページにて受付いたします。(WEB受付のみ)
その他詳細はホームページをご確認ください。

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 4月27日(土) 10時 ~ 5月18日(土)

※お申込みには、メンバーズ・クラブへの事前入会が必要です。
(会費無料、WEB会員は即日入会可)
※TEL会員は電話にて、WEB会員はWEBにてチケットをお申込みいただけます。
※窓口での販売はございません。
※1回のお申込みにつき、1公演・1席種、S~Bは4枚まで、C・Dは2枚まで。

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB(24時間受付) suntoryhall.pia.jp ***座席選択可能**

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日を除く) ***座席選択可能**

※0570で始まる電話番号は、一部のIP電話・プリペイド方式の携帯電話からはご利用になれません。

一般発売 5月25日(土) 10時 ~

※1回のお申込みにつき、1公演・1席種・4枚まで。
※先行発売で売切れとなった席種は、一般発売で販売しない場合がございます。
※一般発売初日はサントリーホールチケットセンター(窓口)での受付・販売はございません。

インターネット受付

※ご利用には、事前登録(無料)が必要です。

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB(上記URL)

チケットぴあ

<https://w.pia.jp/t/wph/>

イープラス

<https://eplus.jp/wph/>

ローソンチケット

<https://l-tike.com/wph/>

電話受付 サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日を除く)

ウィーン・フィルハーモニー ウィーク イン ジャパン 2024

■ウィーン・フィル奏者による
公開マスタークラス
フルート 講師:カール=ハインツ・シュッツ

11月14日(木) 19:00開始予定

ブルーローズ(小ホール)

※9月発売予定

■無料公開リハーサル
日時調整中
大ホール

※応募方法などの詳細は8月以降、サントリーホールHPなどでご案内します。

■サントリーホール&ウィーン・フィルの青少年プログラム
11月16日(土) 11:00 開演予定 大ホール

※中高生を対象とした、学校単位でご参加いただく特別プログラム(要事前申込み)。

(問)サントリーホール企画制作部 03-3505-1010 (平日11:00~18:00)

残席がある場合、個人(中学1年生~高校3年生)の参加申込を受付いたします。詳細は9月上旬までに発表いたします。

他都市公演

11月7日(木) 川崎
ミューザ川崎シンフォニーホール
(問)044-520-0200(平日10:00~18:00)

11月8日(金) 浜松
アクトシティ浜松 大ホール
詳細は4月下旬に発表予定

11月9日(土) 大阪
フェスティバルホール
(問)06-6231-2221(10:00~18:00)

11月10日(日) 福井
福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい 大ホール
(問)0776-38-8282
(10:00~17:00、月曜休/月曜祝日の場合、翌火曜休)

お問合せ サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日を除く) suntory.jp/HALL

※就学前のお子様は同伴・ご入場いただけません。※都合により、出演者・曲目に変更がでる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
最新情報はホームページでお知らせいたします。

X @SuntoryHall_PR f @suntoryhallJAPAN 特集ページはこちら

